Ⅱ. 宗像市教育21世紀プラン

連番	新規・ 継続・ 拡大	主要事業名	実施主体	開催時期	予算額 (千円)	事業の目的及び具体的内容	事業目標
1	継続	学校の日	教育政策課	通年	0	開かれた学校、信頼される学校づくりを推進するために、全小中学校に対して、毎月10日を「学校の日」と定め、保護者や地域住民が学校を訪問しやすい環境をつくり、外部評価を受ける場及び保護者等への説明責任の場とする。	毎月1000名以上の参加を目指す。
2	継続	学校教育研究協議会	教育政策課	通年	1, 400	市の教育施策や教職員研修等を効果的に推進し、教職員の資質向上 および教育活動の充実を図るために、学校職員及び教育行政関係者 等を構成員とする協議会を設立し、学校教育の活性化を図る。	学期に1回程度の開催を行い、企画実行率を80%とする。
3	継続	漁村留学事業	学校教育課	通年	3, 721	地島地区の学校及び地域の活性化を図るために、地島以外の児童を対象に、地島小学校へ留学生として迎え入れ、お互いの交流等を通して、相互の豊かな感性・情操を養う。	6名程度の留学生の確保と安全で意義のある留学生活を目指し、本事 業の継続を推進する。
4	継続	IT指導員派遣事業	学校教育課	通年	3, 100	教育活動支援システム・教材コンテンツの活用による情報教育推進 のために、小中学校に対して、IT指導員を派遣して教職員の情報 教育リテラシイーの向上を図る。	教職員等に対して、ITに関する指導・助言を行い、基本操作能力の向上を図る。
5	継続	学力向上支援事業	学校教育課	通年	52, 825	「確かな学力」を育成するため、指導方法の工夫改善に取り組む小中学校に対して市独自で非常勤講師を配置し、きめ細やかな指導及び個に応じた指導の充実を図る。	対象学年における教科の学力の向上を図る。
6	継続	特別支援教育推進事業	学校教育課	通年	23, 877	特別支援コーディネータ養成研修を実施。専門家チームを構成し巡 回相談を実施する。特別支援学級等補助員を配置する。	特別な支援を要する児童生徒の継続的なサポートを体制を維持する。
7	継続	市研究指定委嘱事業	学校教育課	通年	4, 000		研究発表に参画できるよう学校運営の体制整備に努める。研究成果 に対する各学校への波及効果や教職員への指導改善意識を高める。
8	継続	A L T派遣事業 (外国語活動支援事業)	教育政策課	通年	30, 062	小・中学校に対して、8名のALTを派遣し、小学校では英語への 意欲・関心を高め英語に慣れ親しむことによって、英語活動・国際交 流活動を推進する。中学校では、英語活用能力・国際理解意識の向 上を図る。	小学校では、英語活動の意欲・関心度を向上させる。中学校では、 聞くことや話すこと等の実践的コミュニケーション能力の向上をめ ざす。
9	継続	体験活動報告会	子ども課	翌2月	0	体験学習事業の効果や事業の成果を明確にするとともに、体験活動の重要性を市民に周知するため、地域・学校・教育委員会等で実施された体験活動の報告会を実施する。	体験活動参加者だけでなく、広く学校関係者、地域指導者等の報告 会への参加者を募る。
10	継続	子どもまつり	子ども課	11月3日	1, 249	子どもの育成を家庭、地域、学校、社会全体で担う意識の高揚を図るため、O歳児~19歳までを対象に、異年齢が交流できる子どもまつりを実施する。	子どもまつりに携わる関係団体の参加率を高めるとともに、一般市 民のまつりへの参加増員を図る。

Ⅱ. 宗像市教育21世紀プラン

連番	新規・ 継続・ 拡大	主要事業名	実施主体	開催時期	予算額 (千円)	事業の目的及び具体的内容	事業目標
11	新規	小学校セカンドスクール事業	教育政策課	1学期	900	子どもたちの自主性、協調性、耐性、感性などを育成するため、小 学生を対象にした交流宿泊体験学習を実施する。	たくましく生きる能力を育成するとともに、大学との連携で学生ボ ランティアの活用を推進する。
12	継続	中学校職業体験学習事業7 クワクWORK	教育政策課	9月		生徒が仕事と地域社会への理解を深め自立を高めるとともに、地域 社会の教育力向上を図るため、全校の中学2年生を対象にした職業 体験学習を5日間実施する。	学校・家庭・地域事業所の連携と支援体制の充実を図る。
13	継続	ニュージーランド交流事業	子ども課	8、11月		際的視野を持った次世代層を育成し、生きた国際交流を実施するため、中学生をニュージーランドへ派遣する。また、ニュージーラン	国際的視野を持った子どもの育成及び市が行う国際交流に携わるボランティアとして育成する。多くの中学生に興味をもってもらえるような広報の方法を検討する。よりよい研修にするため、事前研修、事後研修の回数・内容を再考する。
14	継続	学校図書館資料の整備	図書課	通年	20, 108	古くなった図書等の更新を行いつつ、学校図書館の図書資料を整備 する。	図書を選定基準に沿って効率的に購入する.
15	継続	調べる学習賞コンクール の開催	図書課	通年	189	学校図書館の資料やインターネットなど様々な情報を活用した「調ベ学習」を行うことを通じ、「自ら考え、課題を解決する力」を養うことを目的に、市内小中学生を対象にした宗像市図書館を使った「調べる」学習賞コンクールを行う。	第3回宗像市図書館を使った「調べる」学習賞コンクールを行う。
16	継続	学校図書司書研修会の実 施	図書課	通年	240	学校図書司書を対象にした研修会を定期的に開催し、レベルアップ や連携を図るとともに、児童・生徒・教職員の学校図書館利用や学 習活動の支援を行う。	学校図書司書のレベルアップを図るために、月 1 回の定例的な研修 会を開催する。
17	継続	学校図書館推進協議会の 運営	図書課	通年	140	市民代表、知識経験者、校長会代表、司書教諭等で構成する「学校図 書館推進協議会」を活用して読書活動の推進と支援体制を築く。	学校図 書館推進協議会を3回開催する。
18	継続	学校給食における学校·家庭·地域連携事業	学校給食課	通年	500		生産者との交流や、保護者への授業公開など、各学校の特色を生か した取組を行っていく。
19	継続	小中学校での食教育	学校給食課	通年	0	保護者や児童生徒が「食」についての意識を高め、健康な食生活の 実現と、健全な心身の成長及び豊かな人間性をはぐくむため、食 育推進事業を実施する。	食に関する体験活動、親子料理教室など食育推進活動を行う。

平成20年度むなかた学びの里主要施策・事業

Ⅲ. 宗像市生涯学習推進プラン

	ய. 示隊印生涯子自推進ノブン 								
連番	新規・ 継続・ 拡大	主要事業名	実施主体	開催時期	予算額 (千円)	事業の目的及び具体的内容	事業目標		
1	継続	郷土史講座	図書課	7月~9月	109	一般と子ども向けそれぞれに郷土史講座を行い、宗像の歴史と文化を学ぶことで地域に関心を持ち理解を深める機会にする。	「宗像見聞学講座」を2回、「子どものための郷土史講座」を3回実施する。参加者数は前年度以上を目指す。		
2	継続	図書館ボランティアおは なし会	図書課	通年		現の場を提供する。必要に応し研修の機会、活動の場、情報の提供 おたい、何本的にボランティアが中心になって企画・関展できると	毎週行われているおはなし会を推進し、レベルアップのための研修会を行う。 おはなしボランティアの連絡会を年2回程度開催し、意見交換を行う。		
3	新規	図書物流システムの導入	図書課	通年	331	市民図書館の資料を市内全小・中学校で利活用できるよう、図書物 流システムの導入を検討する。	学校が必要とする市民図書館の図書資料の集配業務を業者に委託して、図書物流システムを始める。		
4	継続	読書推進事業	図書課	通年		子ども向けにおはなし会、一般向けに講演会を実施するほか、除籍 資料の無償提供、展示コーナーや様々なイベントを通じて、市民に 読書の楽しみや喜びを知らせ、読書活動を推進する。	毎月2回のおはなし会、毎月1回の展示を目指す。イベントは年3回以上行う。講演会への参加者は、50人以上を目指す。		
5	継続	大学図書館との連携	図書課 市民活動推進課	通年		専門資料を豊富に有する市内三大学図書館と連携し、情報の共有・ 資料の相互貸借を行い、市民サービスの充実を図る。また、相互協 力できる新たな事業の検討を行う。	市内三大学図書館が所蔵する資料を、宗像市民図書館で貸出しできることを広く市民に周知し、利用の拡大を図る。 主として人的な面(教員・学生)での、市民図書館事業における大学の活用を検討する。		
6	継続	図書館・コミュニティセ ンター連携事業	図書課コミュニティ課	通年	883		自由ヶ丘コミュニティ・センター図書貸出事業を推進し、利用件数 は前年度以上を目指す。事業拡大に向けて、関係部署と協議・検討 を行う。		
7	新規	市民図書館久原分室「え ほんのへや」運営	図書課	通年		市民活動交流館内「えほんのへや」において、主に就学前の子ども 達とその保護者を対象に関係部局や読書推進団体等と連携して事業 を行い、こどもの読書活動を推進する。	読書相談員を配置し、乳幼児の読書に関する相談受付や、情報の提供(保護者を対象に読み聞かせ、本の選び方、与え方の指導など)を行う。 読書推進団体を対象に、パネルシアターなどの備品・用具の貸出を行い、連携して事業を行う。 子どもとその周りにいる大人たちを対象に「絵本講座」を開催して、絵本と出会う機会を提供する。		

平成20年度むなかた学びの里主要施策・事業

■ハード事業

	■ハート事業								
連番	新規・ 継続・ 拡大	主要事業名	実施主体	開催時期	予算額 (千円)	事業の目的及び具体的内容	事業目標		
1	新規	日の里中学校改築事業	学校教育課	H20.4~ H21.3	998, 833	昭和50年に建築され老朽化が進み、生徒・教職員の安全確保等のため、学校の全面改築工事を今後3カ年の予定で行い、学校教育環境の向上を図る。	平成20年度:屋內運動場改築、教室棟部分改築平成21年度:教室棟、管理棟改築平成 <mark>22</mark> 年度:既存解体、屋外環境整備		
2	新規	玄海東小学校地震補強工 事	学校教育課	H20. 5~ H 20. 8	32, 181	校舎の耐震補強の工事を実施し、学校施設の耐震性能を確保す る。	補強は <mark>梁</mark> 、壁等の補強を行う。		
3	新規	玄海中学校水洗改造工事	学校教育課	H20. 7∼ H 20. 8	22, 152	合併浄化槽を使用している環境を下水に放流する工事をし、法令 に適合した状況に向上する。	排水管布設:L≒ <mark>230</mark> m		
4	新規	青少年センター整備	子ども課	H20. 7~ H20. 12	22, 670	エリックス内で連出している首グ年センターをディザーにスセン カーたみ体 投転する	事務室(34㎡)、適応指導教室(48㎡、40㎡)、相談室(10㎡、9㎡)、多目的ホール(120㎡)、収納庫、玄関、トイレ、エントランスホールの改修		
5		学校図書館管理システム の再構築	図書課	通年	0	平成14年度に導入した学校図書館管理システムを、現在の基本的な機能を保持しつつ、市内小中学校の相互貸借機能、より使いやすい検索機能等を加えた新システムへバージョンアップし、管理運営業務の効率化と児童・生徒・教職員への利用サービスを図る。	平成21年4月にシステムが稼動できるように業者を選定しシステムを構築する。		
6	継続	中学校給食施設建設事業	学校給食課	H17.6∼	286, 873	平成17年度~平成22年度に中学校6校の単独校調理場方式の給食施設を建設するため、平成16年度に設計を行う。平成20年度は、城山中学校の給食施設を建設する。また、日の里・玄海中学校の実施設計を行う。	より良い給食の提供と身近なところでの調理業務を実感し食教育の充実を図る。平成21年度日の里・玄海中学校給食施設建設		

平成20年度 市民協働部市民活動推進課・市民活動交流室主要施策・事業

連番	新規・ 継続・ 拡大	主要事業名	実施主体	開催時期	予算額 (千円)	事業の目的及び具体的内容	事業目標
1	拡大	市民活動交流館事業	市民活動交流室	通年		市民活動、NPOボランティア活動を育成、支援のための活動拠点として、さまざまな市民団体等の交流を促進して連携した事業に取り組み、さらに市民活動に関する情報の提供や人材育成のための事業を実施する。	する「市民サービス協働化提案制度」や、新たに市民活動を
2	継続	社会教育委員の会事業	市民活動交流室	通年	471	社会教育法及び宗像市社会教育委員設置条例に基づき、設置・構成された社会教育委員が、社会教育に関し、教育長を経て教育委員会に助言するため、同法第18条に掲げる職務を行う	教育委員会等と連携しながら、行政課題についての提言に向 けた調査検討を行う
3	継続	生涯学習活動推進事業	市民活動交流室市民活動推進課		5, 373	趣味教養講座等の開催、受講生のニーズの把握、受講生募集、有 志指導者の育成と派遣、及び自治公民館活動指導者研修会の開催	受講生の年間述べ人数は5万人を超えるが、受講生からの学習収入のみで運営が出来るようになるよう、受講生数のさらなる拡大を目指す。自治公民館活動基礎研修会は、基礎事項を中心に学習し、新たな自治公民館役員等が事業を円滑に推進できるように支援する
4	拡大	企業スポーツ支援事業	市民活動推進課	通年	1, 900	・九州実業団女子駅伝大会におけるスポーツボランティアの育成・福岡サニックスブルースの後援会組織(市民応援団)育成・トヨタ自動車九州陸上部によるアスリートクラブの設立、ほかJR九州ラグビー部、塚原体操館、サニックススポーツ振興財団、グローバルアリーナとの連携事業	宗像市を拠点とするラグビートップリーグの福岡サニックス ブルース・トヨタ自動車九州陸上部などの支援活動を通し て、市民意識の改革や連帯感醸成を図る。また、福津市と連 携して九州実業団対抗女子駅伝を支援する
5	継続	市民文化活動振興事業	市民活動推進課	通年	3, 765	文化事業推進のため、芸術祭、吹奏楽祭、文化祭、子ども芸術祭に関する事業支援。	『芸術祭』『吹奏楽祭』『文化祭』『こども芸術祭』を実施 し、文化協会員や一般参加者の発表の場を提供する。また、 文化協会については、各種事業のさらなる自主運営を促し、 事務局機能の強化を図る。
6	継続	市民スポーツ推進事業	市民活動推進課	通年		体育協会をはしめとしたスポーツ関係団体への支援、体育指導安員など各種スポーツ指導者の育成。 一つのコミュニティを単位クラブとする、宗像市独自のそれぞれコミュニティの特性がある市民参加・主導型のスポーツクラブ (コミュニティ)づくりの推進	体育指導委員を活用した市民に対するニュースポーツの指導や地域のスポーツ事業への支援を行う。 体育協会を支援し、各種のスポーツ事業を実施する。 ニュースポーツをはじめとしたスポーツ用具を整備・活用促進する。各地区コミュニティ対象にニュースポーツの指導者養成講習会を実施する。また、地域での健康づくり体力づくり事業の振興を行う。 モデル地区を選定し、地域の特性を活かしたコミュニティ総合型地域スポーツクラブの設立支援を行う。 20年度からスポーツ振興計画の中間見直しにかかる。
7	継続	体育施設管理運営事業	市民活動推進課	通年	62, 942	市民のスポーツ活動の場として、市体育施設や学校体育施設を適切に管理運営し、施設の効率的な利用を図る	各体育施設や学校体育施設は市民にスポーツのできる環境を 提供するという、スポーツ推進の中でも重要な役割を持つた め、今後もさらに市民ニーズへの対応と運営効率の改善を試 みながら推進する

連番	新規・ 継続・ 拡大	主要事業名	実施主体	開催時期	予算額 (千円)	事業の目的及び具体的内容	事業目標
8	継続	体育施設改修事業	市民活動推進課	通年	9, 800	市民のスポーツ活動の場として、体育施設を適切に管理運営し、 施設の効率的な利用を図る	各体育施設は市民にスポーツのできる環境を提供するという、スポーツ推進の中でも重要な役割を持つため、今後もさらに市民ニーズへの対応と運営効率の改善を試みながら推進する
9	継続	文化財調査事業	市民活動推進課	通年		文化財指定案件についての基礎調査を実施する。 開発における文化財の事前審査を行う。 開発地域における埋蔵文化財発掘調査を実施する。 調査によって収集された文化遺産を整理・収蔵・保存する	①合併に伴う事前審査基本台帳作成の基礎資料となる文化財 詳細分布調査を実施する。 ②文部科学省による指導項目埋蔵文化財調査報告書の作成。 ③指定案件の調査及び審議・指定。
10	継続	文化財活用事業	市民活動推進課	通年	841	地域の郷土文化遺産を広く市民が活用できるよう利用者の需用に あわせた体験学習用カリキュラムの開発及び資料の整備を行う	古代布づくり体験プログラムに加え、古代ガラスの製作技法 体験などの新規プログラムの開発及び資料作成/整備を行 い、体験型郷土文化学習参加人員の拡大を図る
11	継続	郷土文化学習交流施設整 備事業	市民活動推進課	通年	2, 000	民俗資料館と民具資料館を統廃合し、民俗資料館機能に文化財センターの各機能を備えた歴史文化継承の拠点施設として、郷土文化学習交流施設を整備する	アクシス玄海をリニューアル活用し、体験型の郷土文化交流 学習施設に改修するための基本設計及び実施設計を行う